

GSS 令和 8 年度 7 月期、8 月期 GSS 活動報告（栗駒山地）

岩手南部森林管理署

今年度も栗駒山地での森林保護員（通称：グリーン・サポート・スタッフ（GSS））による活動が始まりました。今年度、栗駒山では「須川コース」、「^{ざるもり}笹森コース」2 種類の登山道がそれぞれ再開通となり、「須川コース」は約 7 年ぶり、「^{ざるもり}笹森コース」は約 18 年ぶりの開通となります。昨年度よりも登山者の増加が見込まれるため、気を引き締めて業務に臨みたいと思います。令和 8 年 7 月、8 月期の活動について、以下のとおりご報告します。



昭和湖（8 月 16 日撮影）

○7 月、8 月の天候

7 月、8 月は例年に比べ、栗駒山域岩手側では雨や曇りの日が多かったです。オホーツク海高気圧から東北地方太平洋側へ冷たく湿った空気が流れ込む、通称「やませ」の発生しやすい気圧配置が続いたことや、太平洋高気圧の張り出しが弱い日が多かったことが原因と考えられます。「やませ」発生時、気温は山麓（一関市側）でも 25 度程度とかなりの低温となります。須川高原や栗駒山では肌寒いほどでした。一方、青空の広がる日は気温がぐんと上がり、寒暖差の激しい盛夏だったと感じます。

9 月は現在のところ猛暑日予報は少ないですが、晴れた日には厳しい残暑が予想されます。登山される方はこまめな水分補給、休憩を心掛けてください。昨年は少雨による動植物への水不足が懸念されましたが、今年は問題なさそうです。

○須川コース

今年は約 7 年ぶりに「須川コース」が再開通しました。栗駒山は活火山で、現在も火山活

動が活弁な山。数ある登山コースの中で、須川コースは栗駒山の火山活動を身近に感じながら登山を楽しむことができる登山道です。現在、栗駒山の火山活動は山の北側のみ（山頂―須川温泉間）で発生しており、このコースはその区間を通ります。2019年4月、コースの一部区間で高濃度の火山ガス（硫化水素）が発生したことから通行止めとなっていました。昨年、昭和湖周辺への迂回路設置、各所への火山ガス警報装置の設置を行われ、今年7月より通行可能となりました。硫黄臭漂う荒涼とした地獄谷、1994年の水蒸気噴火で形成されたエメラルドグリーンの昭和湖などが見どころとなっています。



地獄谷

火山ガス（硫化水素）が発生する谷。周囲には硫黄臭が漂う。ガスの濃度変化に注意して通行を。



昭和湖

1944年の水蒸気噴火によってできた火口湖。日によって変化する湖面の青色が美しい。



ゆげ山

湯気の上がる岩山。湯気は地下から岩の割れ目を伝って発生している。この湯気は人体には無害。



剣岳

粘性の高いマグマが噴火しその場で冷え固まることでできた岩山。「溶岩ドーム」と呼ばれるもの。



地獄景観

白い石は、本来黒色だったが、火山ガスや温泉水の影響で金属成分が抜け落ち白色になった。



須川温泉

栗駒山の火山活動に伴って湧出する温泉。湧出量は毎分6000リットル。pH2.2の強酸性温泉。

○植生の状況

7月は、ノリウツギ、ハクサンシャジン、ヨツバヒヨドリなど背丈の高く鮮やかな花々が多く見られるようになります。残雪の多く残る場所ではタテヤマリンドウ、イワカガミ、マイヅルソウなど季節遅れの花々が見られ、登山コース選びによっては最も多様な花々を見ることができる季節かもしれません。^{ざるもり} 炭森コースで見られるヒナザクラ群落は必見です。8月になると須川の花のピークは終わりを迎えますが、キンコウカ、チョウジギクなど黄色い花が目立つようになります。また、春に咲いた花々はだんだんと実をつけ始めていきます。



ノリウツギ

漢字で「糊空木」と書く。樹皮から和紙を漉くときの糊が取れる。



ハクサンシャジン

夏に目立つ花。平地で見られるツリガネニンジン^{ツリガネニンジン}の仲間。



ヨツバヒヨドリ

「アサギマダラ」というチョウがこの花の蜜を好んで吸う。



ムシトリスミレ

粘着性のある葉で昆虫をとらえ養分を吸い取る。スミレの仲間ではない。



クロウスゴ

山に自生する野生のブルーベリー。先端の凹みが臼^{うす}のよう。



オオカメノキ

葉っぱが亀の甲羅に似ることから。赤い実は熟すと黒くなる。



シラタマノキ

秋になると白い実がなる。実はつぶすと湿布のような匂いがする。



チョウジギク

一度見たら忘れられない、エイリアンのような不思議な形状。



ナナカマド

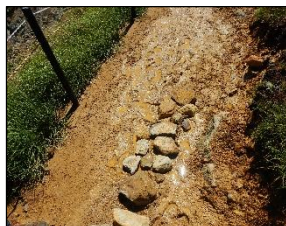
秋に赤い実をつける。美味しくない^{美味しくない}ので鳥が好まず冬まで実が残る。

○保全活動の実施状況

須川コースの再開通に伴い、主に須川コースで登山道の保全活動を行いました。名残ヶ原～荅花台で水はけを良くするための水路をつけました。ゼッタ沢～昭和湖間はぬかるみ避けるために石を敷きました。昨年新しく付け替えられた昭和湖付近の迂回路には植生保護のためのロープ設置を行いました。天狗平～山頂間ではロープの張り直しを行い、登山標識の看板を修理しました。また、登山道中の落とし物やごみの回収を行いました。



ぬかるみ避ける石設置



植生保護ロープ設置



天狗平～山頂間ロープ張り直し



登山標識の修理、ごみ拾い



グリーン・サポート・スタッフの活動では、植生保護・ゴミの持ち帰りをお願いするカードを登山者の方々にお渡しする活動も行っています。7、8月は雨や曇りの日が多かったのですが、地域内外からの多くの登山客にお会いすることができました。今年山に来られる方々は特に再開通した須川コースに興味を持っているようです。晴れば暑く、雨風が強まれば肌寒いという、寒暖差の激しいシーズンだったので、熱中症および低体温症の注意喚起を行うとともに、登山道の異常・植物の盗掘などないかについて聞き取りを実施しました。

